

# JKA補助事業評価委員会 議事録

日 時

令和6年12月4日

15:00～15:35

施設長	事務長	記載者
		

記載者 小林伸幸

会議参加者 (所属)	田辺(施設長)、角田(介護)、岡田(相談員)、中島(ケアマネ) 富澤(デイ)、杉山(ケア)、涌沢(居宅)、磯部(栄養)、小林(事務)
<h2>検討内容</h2> <p>・JKA補助事業についての説明          公益財団法人JKAは、競輪・オートレースの売上金の一部で、社会的課題の解決に取り組む活動を支援している。          「競輪とオートレースの補助事業」は、事業者の自己資金とJKAの補助金を原資として、事業者が主体となって実施する事業である。          当法人では、デイサービスで使用する老朽化した送迎車を新車に入れ替える事業に取り組んだ。当初の計画で、福祉車両(助手席リフトアップ車)の購入費用として、1,870,000円の予算としたが、見積合わせにより、1,568,000円の事業費となった。6月に群馬ダイハツに発注し、9月に納車となった。10月に支払い及び補助金受領となった。</p> <p>・事業評価のための、事業の実施状況、達成状況を説明し、評価基準により採点を実施した。</p>	
備考	

整理番号	2024P-	269	補助事業者名	(福) 倭永会
------	--------	-----	--------	---------

別紙4 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	12	月	4	日	作成者	小林伸幸
-----	------	---	----	---	---	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	予定どおり、移送車1「助手席リフトアップ」を導入した。入札により、メーカーは変更となったが、計画どおりの納車ができたため、9月よりデイサービスセンター(通所)での送迎に使用している。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	スケジュールは予定どおりに実施できた。 予算については、計画より低い価格で実施できた。 管理者の責任のもと、管理者と事務局長で車両を選定し、事務局長が申請をし、評価・公表を管理者と事務局長で実施している。 整備担当は相談員と事務職員で実施している。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2024年9月	[達成状況] 100%	[具体的内容] ・2024年4月に交付決定通知書を受領し、6月に入札と車両の発注を行った。9月に納車し、目標のとおりの10月までに稼働を実施した。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1日平均利用者数3.8人 1日平均稼働時間40分 稼働日数(年換算)281日	[達成状況] 1日平均利用者数54% 1日平均稼働時間22.2% 稼働日数91%	[具体的内容] 延べ利用者数241人/64日、1日平均3.8人 稼働日数 9月(17日/21日)、10月(23日間/31日)、11月(24日間/30日)、年換算281日 平均稼働時間40分/日	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.ポスター掲示4か所 ・デイサービス機関紙2回掲載・連絡会議による周知2回 2.ホームページとSNSに掲載	[達成状況] 1.90% 2.100%	[具体的内容] 1.受益者、関係者への周知・玄関ホール、事務所受付、タイムカード2か所の計4か所にポスターを掲示し、来苑する利用者、家族、及び職員に事業を周知している。・デイサービスの機関紙に2回掲載し、利用者及び家族に周知している。・連絡会議で資料配布とともに説明し、職員全員に周知している。 2.広く世間一般への周知・ホームページやSNSにて発信をしている。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.ポスター掲示4か所 ・デイサービス機関紙2回掲載・連絡会議による周知2回 2.ホームページとSNSに掲載	[達成状況] 1.90% 2.100%	[具体的内容] 1~2.上記の情報発信時には、常に競輪とオートレース補助金による事業であることを明示した。	4
(5) 自己評価の体制	予定通り評価委員会を開催し評価を行った。(「評価過程の記録」として議事録添付)評価結果のホームページ掲載は12月に行う予定。			4	

(b) 総合評価

総合評価点	4
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	計画どおり車両を導入し、老朽化した車両を廃車した。車高が高く視野が広いことや、バックカメラにより後進時の安全性が高く運転がしやすい。その他最新の安全装置を備えているため、事故のリスクを低減することができると思われる。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	・同タイプの車種で見積合わせを実施し、計画より少ない経費で実施することができた。 ・機関紙への掲載が1回分抜けてしまったので、情報発信の管理を確実に実施していく。 ・計画を多く見積もり過ぎたことにより、特に利用者数と稼働時間について達成状況の率が低くなってしまったので、できるだけ目標に近づこう当該車両の使用頻度を多くするよう職員にはたらきかけていく。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	送迎時に利用者の家族から車両のことを尋ねられ、競輪とオートレースの補助金で購入した旨をお伝えした。

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	*		(1) 経費	(1) 事前計画で予定したメーカー以外にも、同タイプの車種で見積合わせを実施し、計画より少ない経費で実施することができた。 (2) 情報発信の管理が不十分で、機関紙への掲載が1回分抜けてしまった。	(2) 情報発信を計画通りに実施できるよう、進捗管理を確実に実施していく。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
		*	(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因		*	(8) 受益者の規模・ニーズ	(8) 事業の達成目標で、計画を多く見積もり過ぎたことにより、特に利用者数と稼働時間について達成状況の率が低くなってしまった。	(8) できるだけ目標に近づくよう当該車両の使用頻度を多くするよう職員にはたらきかける。
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
			(16) 特になし		